

2015年度 新予算のポイント

村山市の一般会計の総額は2014年度当初比2.2%減で、5年ぶりの減額編成。厳しい財政状況の中、最重要課題である人口減少対策に重点を置き、子育て世帯の経済的負担軽減を旨指して新たな支援策を打ち出した。

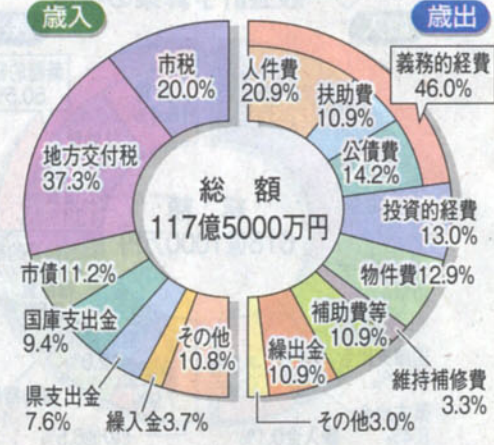
高校生までの子どもが3人以上いる家庭への支援策「子育て応援すくすく手当支給事業」では、第3子以下で3歳未満の子ども1人につき、児童手当に上乗せして月額5千円を給付する。県子育て支援課による「自治体独自のこうした取り組みは、県内では聞いたことがない」という。また、対象が小学6年までだった外来医療費の無料化を築いた場合に50万円を補助する。

助。土地購入で25万円を上乗せし、市内の業者を利用して25万円を追加する。乗せし、市内の業者を利用して25万円を追加する。

安心な生活環境づくりで、除雪関連費に2億7700万円を計上した。市内の流雪溝の整備、消雪ポンプの延命化などにより、「雪道整備に向けた調査を始め

村山市

◇一般会計予算案の構成



- ◇子育て応援すくすく手当支給事業 480万円
- ◇子育て支援医療給付事業 9388万円（3月補正を含む）
- ◇子育て応援定住促進対策事業 2000万円
- ◇クアハウス基点熱源再生可能エネルギー導入事業 1億7257万円
- ◇除雪関連費 2億7722万円

人口減対策に重点

手当支給や住宅新築補助

助。土地購入で25万円を上乗せし、市内の業者を利用して25万円を追加する。乗せし、市内の業者を利用して25万円を追加する。

安心な生活環境づくりで、除雪関連費に2億7700万円を計上した。市内の流雪溝の整備、消雪ポンプの延命化などにより、「雪道整備に向けた調査を始め



村山市の舘葉プラザ内にある親子交流ひろば。市は若い世代の定住促進に向け、子育て世帯の支援に一段と力を入れる

校を回り、児童生徒や教員から聞き取り

るほか、市内の防犯灯約2300基を発光ダイオード(LED)に替える。国の「地域住民生活支援等緊急支援交付金」を活用し、14年度補正予算に1億6千万円を計上した。事業の実施は15年度となり、主なものとして、NPO法人「静岡市」が取り組んでいる「恋人の聖地」に東沢公園を登録して集客を促進する。また、市内の観光地を周遊するバスを運行する。